

なる必要がある。医師会の発信したメッセージを世論が受け入れ、医師が団結して初めて解決に向かって前進できるが、現実はそうではない。国民のためと発した医師会の意見は、黙殺されたり、開業医の利益のためだと誤解される。研修医制度や医師派遣を医師会が主導することも、同様である。医師会は多くの国民や医師から信頼も得られず、期待もされていない。それは誤解と認識不足に基づく過小評価であり、過去（そして現在も）どれだけの努力をしているかが理解されていない。もちろん十分な成果をあげているとは言えないが、逆に医師会の努力が無ければ、医療崩壊の現況は今よりもっと悲惨になっていたことは間違いない。

6. 信頼されない医師会、不遇な医師

医師会は国民の生命と健康を守ることを目的に活動しており、厚生労働省や財務省に比べて正しいことを言っている、ということは日医ニュースや日医白クマ通信を見ていると実感する。しかしマスコミや官僚・政治家の影響で、「医師会は開業医のための利益団体である」というイメージが、国民にも、そして医師（主に若手の勤務医）にも根付いている。

多くの医師が健診、予防接種、学校保健、産業保健、介護保険、救急医療といった各種の厚生事業に携わり、国民の健康の保持・増進に役立つ社会貢献をしている。実施するのは個々の医師であるが、代

表して行政機関と内容を協議し、維持しているのは医師会である（私も理事になるまでは、医師会が行政とこんなに多くの交渉を行っているとは知らなかった）。担い手の医師の9割方が中小病院と診療所医師であり、その困窮は地域厚生事業の破綻に結びつく。その阻止のために再診料値上げを求めれば、マスコミはまた開業医が報酬を増やせと言っていると財務省の宣伝活動をする。地域の医療機関が経営を維持できなければ、地域の生命と健康は守れないのである。医師会はそういうメッセージを発信しているが、マスコミは取り上げず、国民からの信頼は低下してゆく。

7. 結び

医療崩壊を立て直すには医師会が主導して、より良い卒後研修制度、広い北海道の諸地域を結びつけるネットワークや医師バンクの構築をしてゆかなければならない。そのためには国民からも医師からも信頼される団体となることが必須である。もちろん陳情など政治的な活動も重要であるが、医師会が国民の生命と健康を守る全医師の代表として、日々懸命に努力していることをもっと啓蒙（宣伝活動）すべきである。何を悠長なことを言っているんだと思われるかもしれないが、喫緊の課題には医師会はいかに取り組んでいるのである。それが会員に見えにくいのも、また問題なのだが。

北海道医師会ホームページ フォトギャラリー 作品募集

◇情報広報部◇

北海道医師会では、ホームページにフォトギャラリーを開設しております。今後、会員の皆様の作品掲載を充実していきたいと考えております。どうぞふるってご応募ください。

募 集 要 項

【応募規定】

- 作品のテーマは自由です。
- 本人が撮影した作品に限ります。
 - フィルム：作品は原則としてポジカラー（スライド）としますが、プリントはキャビネサイズ以上であれば可です。
 - デジタル：JPEG、TIFF等の画像データ。
ただし、撮影時のオリジナル画像と大きく異なるような修正・合成等の画像処理を施したものは不可とします。
 - コメント：作品タイトルと200字程度にまとめた説明等を添付してください。
- 応募者それぞれに専用の掲載ページを作成します。同時に掲載できる作品は20点までとします。作品の入れ替えは、随時可能です。

- 肖像権やプライバシーの侵害には十分ご注意ください。当会では責任を負いかねます。
- 応募作品が著しく多数の場合、広報委員会において、フォトギャラリーへの掲示作品を選定いたします。
- 作品の応募は随時受け付けております。

【応募・問い合わせ先】

〒060-8627
札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661
FAX 011-252-3233
E-mail photo@m.dou.jp